



同窓会会報

発行
福島成蹊高等学校
同窓会
福島市上浜町 5-10
電話 (522) 2049
発行人 石井 都
印刷所 シーアイエー(株)



平成元年 (1989 年) 卒業アルバムより



皆様のご支援を
お願いいたします

同窓会会長 石井 都
(昭和 41 年度卒)

同窓生の皆様お変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。

この度会長の任をお引き受けし、七ヶ月余重責の日々を過ごしております。

昨年の総会には、百有余名のご参加を頂き、各審議事項を、真剣に討議していただきました。又、会員の皆様からの提案事項に付きましては、今後随時検討してまいりたいと思います。

総会後のミニコンサートに於いては、蕃建先生の雅な琴の音色につつまれて、素晴らしい一時を過ごさせて頂きました事に、紙面をお借り致しまして、厚く御礼申し上げます。ご来賓、学校関係、恩師、諸先輩、後輩の皆様との、楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいました。

中高一貫六ヶ年教育を旨とする中学校敷地内に、故山田広助様からの茶室(自

蹊庵)ご寄贈を頂き、千玄室大宗匠御臨席の茶室披きへの出席、そしてご講演聴講の機会に恵まれました事に、役員一同感謝しております。

同窓会も男女共学、中高一貫教育の組織となり、難関山積みスタートでございますが、旧役員の皆様様が築いてこられた会を、さらに発展させるよう、そして三年後の百周年にむけて役員一同前進あるのみとの決意を固めております。金子前校長(現参事)、吉田秀一総務部長のアドバイスを頂き、組織強化・充実と会の円滑な運営を図るべく七人の先輩方に顧問就任のご委嘱を申し上げ、ご快諾を頂きました。まことに心強い限りでございます。

会の発展のため、皆様のさらなるご指導・ご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

母校は「成蹊」と

言える誇り

同窓会員の皆様、日頃は学園の教育に対し多大なるご協力ご支援を戴き心からお礼を申し上げます。お蔭様でこの秋には中学校敷地に移設された『自蹊庵』の茶室披露を前裏千家家元千宗室大宗匠をお招きし執り行う事が出来ました。思う



校長 本田 哲朗

『自蹊庵』披露に思う

に、二つの校地に別々の茶室を持つ学校は本校を置いて他にありませんが、桃李の精神の具現化に向けて動き出した歴史的な出来事です。どうか、皆様におかれましても自蹊庵をご活用下さいますようお願い申し上げます。

福島成蹊学園同窓生の皆様には、ご健勝でお過ごしのこととお慶び申し上げます。私、この度理事長をさせて頂きたくことになりました。近野輝雄です。理事を長く務め成蹊に精通しているという事で御指名いただいたものと思っております。長女が成蹊の卒業生で、父母の会の会長が理事になるきっかけでしたので成蹊には人一倍の思い入れをもっております。誠実に職責を果たし成蹊の発展に頑張っております。学園は大正二年の創立ですので、九十七年の伝統を有し、まもなく百周年を迎えます。県内では学法石川に次いで二番目に古い私立学校であり、これは誇りに値することです。男女共学、昨年から中高一貫教育が始まり、様変わりしているように思われますが女子校時代の良

妻賢母の教育を目指した優しい校風はしっかり守られています。特に成蹊を慕って入学する男子は優しく、これからの校風は男子が継承していくのではと感じられる程です。同窓生にお願いがあります。百年もの伝統がある成蹊です。大勢の同窓生がいるはず。しかし、成蹊卒を堂々と名のる人が少ないような気がします。同窓生は控えめで、大人しさを備えた素晴らしい方々ですが、本校PRの為に是非お力添えいただきたいと思っております。皆様の「私の母校は成蹊よ!!」この発声を今の成蹊は何よりも必要としています。公立志向が強い福島で私立成蹊が展開していくには同窓生の協力がいけません。これからご支援を宜しくお願い致します。



ご挨拶

理事長 近野 輝雄

盛況だった同窓会総会

同日、私は初めて同窓会総会に参加させて頂きました。普段の大学生活では関わることのできない年代の方ともお話ができて嬉しかったのと、母校の歴史の深さに感銘いたしました。以前は、家政教育などを行っており、常に時代のニーズに応える教育を行っていたのだと改めて感じました。これからの、母校の益々の発展と、本同窓会が末永く続きますよう願っております。

菅野麻里奈 (平成20年度卒) 三月に成蹊を卒業し、初めて同窓会総会に参加しました。先生方とも久しぶりにお話でき、先輩方とお話できるという機会でもない、有意義な時間を過ごすことができました。

津田亜由美 (平成20年度卒) 先日、私は初めて同窓会総会に参加させて頂きました。普段の大学生活では関わることのできない年代の方ともお話ができて嬉しかったのと、母校の歴史の深さに感銘いたしました。以前は、家政教育などを行っており、常に時代のニーズに応える教育を行っていたのだと改めて感じました。これからの、母校の益々の発展と、本同窓会が末永く続きますよう願っております。

福島成蹊高等学校同窓会一般会計決算書

平成20年4月1日～平成21年3月31日

1. 収入金額 1,368,932 2. 支出金額 1,093,558 3. 差引金額 275,374

収入の部 (単位: 円)			
項目	本年度予算額	本年度決算額	増減
会費	1,184,000	1,164,000	△ 20,000
預金利子	1,000	1,196	196
雑収入	5,000	5,000	0
繰越金	198,736	198,736	0
合計	1,388,736	1,368,932	△ 19,804

支出の部			
項目	本年度予算額	本年度決算額	増減
事業費	600,000	341,129	△ 258,871
会議費	90,000	13,480	△ 76,520
会報発行費	120,000	120,750	750
協力費	160,000	365,462	205,462
交誼費	70,000	19,318	△ 50,682
通信費	80,000	17,600	△ 62,400
旅費	10,000	0	△ 10,000
事務費	60,000	15,819	△ 44,181
特別積立費	100,000	200,000	100,000
予備費	98,736	0	△ 98,736
合計	1,388,736	1,093,558	295,178

特別積立金(平成21年3月31日現在) 12,412,287 円

上記帳簿及び関係書類について監査の結果正確であることを認めます。

平成21年4月20日

監事 酒井 幸子 杉内 文子

会務報告

平成21年	
4月7日	入学式出席
11日	定例役員会
20日	会計監査
5月9日	定例役員会
23日	臨時役員会
6月6日	幕参(初代・4代校長)
13日	定例役員会
28日	総会開催
7月4日	総会反省会
11日	役員会
9月12日	定例役員会
10月10日	定例役員会
12月12日	定例役員会

平成22年	
1月17日	新年会、定例役員会
1月27日	新幹事顔合わせ
2月27日	入会式
3月1日	卒業式出席



役員紹介

名誉会長
顧問

渋谷スズイ
丹野リン

益田幸子

桂文子

上枝治代

斉藤ヨシ

浅野良子

須田カヨ子

金子昭七(学園参事)

石井都

小林征子

桜内真智子

杉内文子

酒井幸子

矢吹はる香

羽田美子

丹野清子

関根綾子

山科直枝

羽田さくの

加藤圭子

斉藤久美子

高野豊子

新幹事

1組

安田遼佳

2組

渡邊光希

3組

小池広朗

4組

佐藤あゆみ

5組

赤井畑識

6組

松本剛磨

7組

遠藤友紀

8組

大槻里実

9組

中村衣里

10組

渡部鷹哉

11組

後藤愛

12組

光家陽子

13組

持地英彰

14組

吉川梨奈

15組

柏原奈苗

16組

遠藤ひとみ

17組

小野奏里

18組

菅野知沙

19組

安藤恵

20組

加藤美紀

21組

熊坂実奈

22組

高橋茜

旧役員の皆様

ありがとうございました

ごさいます

渋谷スズイ

(昭和30年度卒)

平成十二年六月、平成二十一年六月末日迄同窓会の役員をさせて頂き、その間皆様には大変御世話になりました。ありがとうございます。この度会長を終えて

益田幸子

(昭和28年度卒)

此の度、平成二十一年六月をもって、同窓会役員を退任致しました。昭和三十年同窓会会長・高木八重様、学校長・明石智真先生の代より役員をお引き受けし、その間大過なくその任を果たすことが出来ましたのも偏に皆様方のご厚情とご指導の賜物と深く感謝し心より厚く御礼申し上げます。幸い後任の新役員の方々も新進気鋭の皆様で、この上なく心強く、今後のご活躍と母校の発展を期待して居ります。

浅野良子

(昭和36年度卒)

同窓会の役員としてお手伝いさせて頂きましてから数十年、今期二十一年退任までどれ程の使命を果たせたのだろうか？自問自答の日々も。後輩も育ち、私の役目を終えバトンを渡せた今は感謝の気持ちで一杯です。非常に安堵しております。落胆することも人生の糧として前進すること、自分が自分であることを嬉しく思えること、又選択する事で本当の価値を教えた頂いた場所でもありました。お陰様で明確な目標を持つことが出来ました。同窓会役員皆様様の活躍と、母校の益々の発展をお祈り申し上げます。

活躍する先輩

叙勲おめでとうございます

☆瑞宝小綬章

阿部リエ

(昭和31年度卒)

東京都大田区在住

桑折町出身。ワシントン州立大卒。昭和四十一年、衆院事務局に入り、

国際部国際会議課長などを歴任。調査局首席調査員で退職するまで国内外で活躍されました。

出逢いに感謝

蕃建 笙子

(昭和37年度卒)

私は九歳で眼を奪われました。それからの私は音の世界に住んできました。音楽の道にはいつてからは、聴覚だけでなく全身でものを聴き、ものを観るようになりました。私が作曲する場合、音符と音符の間にあるものは、この聴覚からでなく、全身で感知した雰囲気です。これは宮城道雄の随筆の中の一部です。彼の作品には自然現象を題材にしたものが多く、それは彼が光を失っていたからであらう。有名な「春の海」先日の「ロンドンの夜の雨」も旅した時の印象を曲にした

たものです。

私は尊敬する宮城道雄の曲を演奏する喜びに感謝しこの道に導いてくれた母、多くの人達の出逢いに感謝致します。

サロン

田畑 久恵

(昭和40年度卒)

私は今郡山でスロイフドの店「サロンド懐古」を営んでおります。小さい頃から料理に興味を持ち、昭和三十六、三十七年頃にデコレイションケーキを作った事

の感激が大きく成蹊の家庭科をめざすきっかけとなり現在に至っております。三十代に消費者活動を通して、食の安全と子ども達の健康の大切さを学び、出来る事から生活に取り入れてきました。

そして大切な事は安全な食材と手作りだという結論に至りお店でも喜んで頂いております。水曜日は料理教室を開き作るだけでなく安全をテーマにした教室にしております。

地元の食材、伝統料理として伝える事がスロイフドの心だと思っております。

お店には成蹊の卒業生も見え、初めてお会いしても話がはずみます。サロンド懐古は、まさにサロンです。



象を曲にした

中高一貫教育スタート

学校法人福島成蹊学園

常務理事 高橋 幸七

昨年四月、福島市腰浜町
地内（高校から約三百五十
メートル東側に位置し、第
一グラウンド南側に接する
場所）に福島成蹊中学校が
開校しました。六年後の難
関大学受験をしつかりと見
据えた中で、系統的、効率
的かつ充実した教育カリ
キュラムの下に首都圏型中
高一貫教育が行われ、人間
性豊かで真の実力を持った
人材が育成されます。

四月七日の入学式は、高
校の入学式と同時に同行わ
れ、第一期生四十六名の一
同式典において、同窓会
より西陣織による立派な校
旗をご寄贈いただきました
ことを、この場をお借りし
厚く御礼申し上げます。



同窓会寄贈

一人の名前が担任より点
呼され、希望に満ち満ちた
各人の表情が印象的でし
た。

さらに、四月二十五日に
は、「福島成蹊中学校開校
記念式典」が挙行され、行
政当局、私学関係、報道機
関始め各方面において本学
園をご支援いただいている
皆様、そして同窓会役員の
皆様にご臨席いただき、福
島成蹊中学校の船出を祝し
ていただきました。

同式典において、同窓会
より西陣織による立派な校
旗をご寄贈いただきました
ことを、この場をお借りし
厚く御礼申し上げます。

順調な船出と言える

中高一貫教育

開校から九カ月を経まし
たが、概ね順調な歩み出し
と言えます。地元の公立中
学校に当然のように進学し
た生徒たちではありません
ので、一人一人が自分の将
来に対し、確固たるものと
まではないかと思いますが、自
分の将来の夢や目標をきち
んとと言える生徒が多いこ
とに頼もしさを感じていま
す。

特長の一つである練り上
げられた数々の行事のう
ち、これまでの間に学習合



尾瀬 燧ヶ岳頂上



宿、臨海教室、尾瀬登山
（燧ヶ岳）、強歩（阿武隈限
界）約三十六キロの鍛錬の徒
歩）などを終えました。高
校の先輩や友達と助け合
うこと、そして物事を達成
することの喜びを感じ取っ
たに違いありません。

茶室「自蹊庵」が完成

十月二十日には、敷地内
に茶室「自蹊庵」（茶道裏
千家前家元千玄室大宗匠に
よるご命名、揮毫）が完成
し茶室披露が行われまし
た。当日は、千玄室大宗匠
自らご来校なされ、扁額除

幕いただきました。

茶室では大宗匠を主客と
し、茶室の寄付者である山
田素子様（故山田広助元理
事長令夫人）や教育関係者、
茶道裏千家淡交会関係者ら
二十数名をご招待し、中学
校茶道部員四名が見事な
お手前を披露してくれまし
た。

引き続き、山田記念体育
館に場所を移し、ご来賓や
淡交会関係者そして高校生
ら約千五百名を対象として
大宗匠による記念講演会が
行われました。「みんな一
緒だよ」の演題の下、大宗
匠ご自身の戦
争体験（特攻
隊員）と平和
の大切さ、家
族愛について
など、たくさ
んの感動を頂
戴しました。



戴しました。

校舎増築工事を実施

全学年が揃うこととなる
平成二十三年度までに、中
学校校舎増築工事を予定し
ており、これが完成します
と現校舎の一・五倍の広さ
（床面積：約二千六百平
方メートル）になります。
増築部分には、約四百名収
容の多目的ホールや理科
室、美術室、音楽室さらに
普通教室などが設置されま
す。校舎竣工は平成二十三
年一月を予定しています。

茶室の由来など

故山田広助元理事長、令
夫人素子様より寄贈の茶室
を自宅敷地内から移築した
ものであり、著名な茶室研
究家・建築家である故堀口
捨己氏設計による茶室で
は、東北以北で唯一現存す
るものです。

柱の一部に千利休の養子
千少庵に關係するもの（安

キャンパスライフ

東北大学工学部
安斎 英悟



（平成20年度卒）
僕が東北大学に入学し
てから、もう初めての冬
を迎えようとしています。
今までを振り返って僕が
何を一番学んだかという
と、それは「人とのつな
がり」です。最初に出会っ
たクラス仲間、切磋琢磨
し合ったり一晩中語り
合った部活の友達と先輩
たち、社会勉強を教えて
くれるバイトの人たち。
みんな良い人で充実した
日々を送っています。大
学では自ら行動しなければ
何も始まりません。人
生を切り拓いた受験のよ
うに、僕は全力で進みま
す。



大学の講義は、高校で
の知識が生きてくるもの
が多いです。数学や物理
学は、数学で習った微分
積分の知識がとても重要
になってきます。また、
コンピュータ言語を勉強
する上では、数学の論理
と集合の知識が重要に
なってきます。あまり受
験に出ないからと思っ
てこの分野は高校時代疎
かにしてしまつたので、今
になって苦労しています。
「あの時勉強していたよ
かったな」と思えるよう
に、先輩の皆さんも頑張
ってください。
今後の活躍をお祈り
しています。

工学院大学情報学部
尾形雄太郎

（平成20年度卒）



土桃山時代）が使用されて
いると言われており、現在、
調査確認中です。
茶室は中学校での茶道授
業や部活動に使用し、地域
に開放することも考えてい
ます。
木造平屋建瓦葺き
九十七・三平方メートル
茶室三室・四畳半／六畳／
十四畳

成蹊創立100周年に向けて 資料を集めています協力をお願いします

福島成蹊高等学校は、平成25年(2013年)に創立100周年を迎えます。その記念事業の一環として、100周年記念史の編集を予定しており、そのための資料収集を進めています。福島成蹊女学校、福島成蹊女子商業高等学校、福島成蹊女子中学校・高等学校関連のものがありましたら、協力をお願いします。(詳細は下記参照)。

同校に関する古い刊行物や卒業記念アルバムなどを持っている方は貸していただけませんか。また、知り合いの方で、古い資料等を持っているなどという方がいましたら、ぜひ紹介してください。

■集めている資料について

- 大正年間(大正2年～15年) ○昭和戦前・戦中(昭和元年～20年)
- 昭和戦後(昭和21年～43年)

アルバム:大正年間(2年～15年卒)、昭和(2・7・8・12・13・15～33・35・40年卒)、記念写真なども。特に創立時の記念式典や記念写真、寄宿舎に関するもの。刊行物:生徒会機関誌、部活機関誌(学校新聞・文芸部等)、同窓会、PTA等。

教科書:特に大正年間や昭和前期・20年代のもの、使用ノート等。

賞状関係:卒業証書、表彰状、大会関係賞状(運動・文化系等)、資格認定等。

製作品:授業、部活等。

回想録:授業、クラス、部活、担任・顧問、修学旅行、友人等。



平成二十五年が創立百周年

福島成蹊学園参事 金子昭七

大正二年に創立された本校は三年後に百周年を迎えます。私学として、一世にわたる教育界への貢献は燦然と輝くものであります。

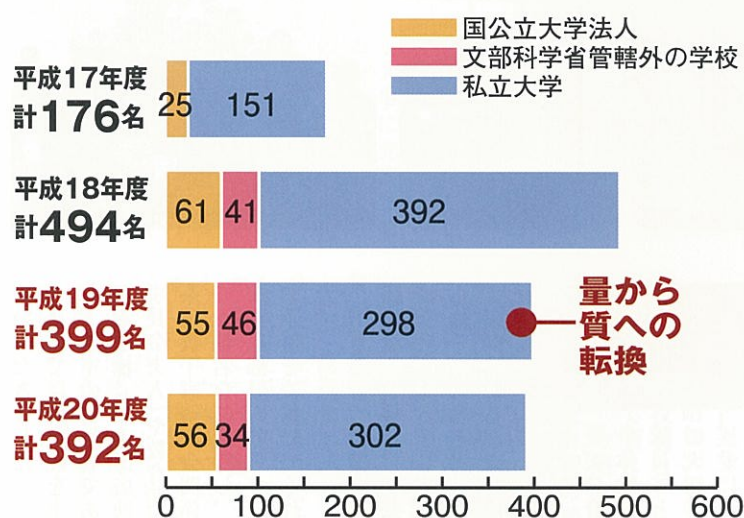
初代校長熊田子之四郎先生を中心に、時の市長二宮哲三氏・助役であり校主の鈴木謙氏・大原病院院長大原一氏等の県都福島の有識者が集い、わずか二カ月の準備期間で創立されました。福島市民の大きな期待の中、県内外から多くの女子生徒が学び、その真摯な勉学への取り組みは大きな称賛を戴いたこととです。

その伝統をしつかりと受け継ぎ、今県下に誇り得る学校として存在を顕示しております。

学園としても、百周年を記念すべく計画を立案中ですが、同窓生の皆様の絶大なご支援なしには成功することはできません。是非、お力添えをいただきたくお願い申し上げます。

現在、記念誌作成のため資料を集めておりますが、大正年代と昭和三十五年以前の資料が不足しておりますのでご協力をお願いいたします。

大学現役合格人数(延べ人数)の推移(平成20年度実績)



平成二十一年度 進路状況について

進路指導部長 二瓶 貴之

今年度の東北地方の志望進路動向は、長引く経済不況の影響で、地元志向が強まっております。

本校におきましては、四年制大学、文部科学省管轄外の大学校等の志望者が年々増加し、昨年以上の合格者数となる見込みです。

短期大学・専門学校につきましては、昨年同様に就職難を背景として、実務を積めるビジネス系や、看護医療、美容師等の資格系の学

科に人気が集出し、昨年並みの成果を取ることができました。就職につきましては、依然厳しい状況が続いており、求人が少なく職種を選べない状況にあります。今後とも内定率十割を目指し、指導を継続してまいります。

今後は国立大学等の一般試験を中心に入試、合格発表が行われてまいります。全生徒が合格の二文字を手中に収めることができますように今後も精一杯支援してまいります。

平成21年度 進路状況 平成22年1月26日現在(一部の学校のみ記載)

国公立大	3名	宇都宮大、福島大、県立医大看護学部
文部科学省管轄外の大学校等	16名	航空保安大学校6名、海上保安大学校3名、航空学生、海上保安学校6名
私立大	139名	國學院大、日本大、東洋大、東京農大、文教大、武蔵野大、神奈川大、女子美術大、桜美林大、大東文化大、清泉女子大、千葉工大、東北学院大、東北福祉大、東北薬科大、白鴎大、国際医療福祉大、拓殖大、ほか
短期大学	32名	桜の聖母短大13名、福島学院大短大部11名、郡山女子大短大部3名、県立米沢女子短大、ほか
看護医療専門学校	7名	大原看護2名、福島看護2名、太田看護、竹田看護、県立総合衛生学院
専門学校	48名	郡山健康科学、東北電子、福島介護福祉、郡山情報ビジネス、仙台ビューティアート、仙台理美容、ほか
就職内定者	17名	自衛隊、JR東日本、JA新ふくしま、菅野建設、三井ニーハナイト・メタル、いちい、ニッテク、根本金物、ほか

平成20年度 合格状況(一部の学校のみ記載)

国公立大	56名	東京工業大、東北大7名、北海道大、千葉大、埼玉大、電気通信大、新潟大2名、宇都宮大3名、福島大15名、山形大6名、北海道教育大、首都大東京2名、室蘭工大、北見工大、会津大3名、宮城大2名、高崎経済大、県立医大看護学部2名、岩手県立大2名、新潟県立看護大、山梨県立大、高知工科大
文部科学省管轄外の大学校等	34名	防衛医科大学校、防衛大学校15名、航空保安大学校3名、海上保安大学校5名、水産大学校、海上保安学校、防衛医科大学校高等看護学院7名
私立大	302名	慶應義塾大、早稲田大、上智大、東京理科大、中央大、明治大、法政大、青山学院大、学習院大、津田塾大、東京女子大、東京農大、獨協大、成蹊大、武蔵野大、國學院大、日本大、東洋大、駒沢大、専修大、ほか
短期大学	54名	福島学院大短大部23名、桜の聖母短大17名、郡山女子大短大部4名、県立米沢女子短大、会津短大部、ほか
看護医療専門学校	24名	大原看護7名、県立会津看護4名、福島看護4名、太田看護2名、県立総合衛生学院2名、ほか
専門学校	53名	福島県高等理美容、郡山健康科学、仙台医療福祉、国際ビューティファッショ、ほか
就職内定者	24名	自衛隊2名、JA新ふくしま、JA伊達みらい、会津JA、ヨークベニマル、NOK、日立オートモティブ、ほか

同級会

今井久美子

(昭和43年度卒)

卒業以来友人関係にある同級生数名とお茶を飲んでいた時、ふとしたことから、今年は還暦だし同級会を開いてみよう、という話になりました。そして、十一月七日杉妻会館において、遠くは横浜からの参加者も交え、総勢十六名で還暦を祝う同級会を催しました。

もちろん、担任された石井(旧姓 三瓶)道子先生も二つ返事でご参加下さいました。先生は音楽をご担当でしたが、現在では他分野でも活躍されており、誇らしく思えました。



会は、まず物故された旧友を偲び黙祷を捧げ、その後、まるで高校時代に

戻ったかのようににぎやかに思いつつ花を咲かせ、あつという間に時間が過ぎてしまいました。

その母校も、いまや男女共学、中高一貫という進学校に様変わりしましたが、卒業生として今後益々のご発展を願っております。

三年後には先生も古希とのこと。三年後の再会を約束し散会しました。

大関 昭子

(昭和48年度卒)

同級生の発案で、三年に一度の開催予定を繰り上げて、六月二十七日、二十八日と初めて一泊の同級会を開催しました。

恩師、金子昭七先生は、福島成蹊高校校長として平成二十一年三月に御退職されました。記念すべき同級会に、遠くは北海道、九州からも駆け付け、同級生の経営する土湯温泉に懐かしい顔が揃いました。高校時代に想いを寄せ、笑いあり涙あり、気持ちちは十八歳のあの頃に…。思いつつ花が咲きました。いつも生徒の目線で正面から関わって

くださった先生の熱意に改めて感謝の気持ちが一つになった同級会でした。そして、先生の益々の御健勝を祈り、かけがえのない青春時代の仲間との再会を誓って閉会しました。



齋藤恵子

(昭和48年度卒)

私は成蹊女子高校時代であつた昭和四十九年の卒業生です。金子先生には、一年生から三年生までクラス担任としてご指導を受けておりました。金子先生は教員に成り立ての頃で、体育の授業を担当しておいででした。

私は縁あって土湯温泉の観山荘という旅館に嫁いでいますことで、今回の同級会は、私の旅館において一泊で開催されました。金子先生のファンが多いためか、地元参加はもとより北海道や九州からまでも多数

の参加がありました。先生は当時の呼び名で、参加者一人一人のエピソードを話していただきました。それは私たちにとってとてもうれしいことでした。みんなで記念写真を撮り、先生の得意技?側転二回のお披露目もあり、「若い!」と拍手が沸き上がりました。次の再会を約束して楽しく同級会は終宴しました。

翌朝は、私たちの先輩でもあつた先生の奥様がお迎えにおいでになりました。新婚当時に、級友と図々しくお宅にお邪魔したことなども思い出されました。長い年月が過ぎましたが、今思い出が走馬燈のように駆けめぐります。

金子先生は今も母校で参事というお立場でいらつしやるとのこと、これから金子参事におかれましては、ますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。



平成22年度 総会のお知らせ

日時／平成22年6月13日(日) 午前10時30分～
場所／福島グリーンパレス
内容／総会 アトラクション 懇親会
会費／3,000円
問い合わせ先／福島成蹊高等学校 同窓会事務局 矢吹はる香
TEL 024-522-2049

お知らせ

福島成蹊学園理事長が替わりました。
平成21年12月16日(水)、下田穰二郎理事長が勇退され新理事長に近野輝雄理事が就任されました。

事務局からのお願い!!

★クラス会終了後の名簿を同窓会の事務局に提出して下さい。2,000円の通信費を補助しております。
★皆様の活躍を会報に紹介したいので、情報をお寄せ下さい。

退職される先生方

教諭 喜古 佐太郎
養護教諭 熊田 多美
事務 高野 豊子
(平成22年3月31日付)

あとがき

皆様のご協力で会報が出来上がりました。初めての試みとして今年度は平成元年度卒業会員の皆様全員にお送りさせていただきました。来年度は積極的に取材に行こうと思います。同窓生の皆様ご協力よろしくお願いします。

